



6期生の鈴木君がうどを取ってきた。



元東進の講師だった中山先生が、粟野君と江口君にアドバイスをと来てくれた。



「ふつうにやれ！」  
武修館のT先生は、生徒に「ふつうにやれ。」と  
いつも言っているそうです。「ふつう」って何で  
しょう？辞書で調べると、「特に変わっていない  
こと。ごくありふれたものであること。それがあ  
たりまえであること。」とあります。  
考えてみると、今の社会はあまりにも「ふつう」  
でないことが多く見られます。  
塾の中で見ると、ちゃんとあいさつができない、  
宿題のプリントに名前を書かない、宿題のやり方  
がいい加減、決められたことを守らない。  
塾内でも、根室の塾長とも、同じことをやって  
いてなぜ差が付くのかという話をよくしてしまし  
た。結論は「ふつうにやる」をできるか、できな  
いかで差がつくのだと。



江南高校3年生、井沼さんの高体連の応援に3日間行って来た。7種競技に出場し、見事全道大会へ。格好良かった。



文科省が小学校の低学年から英語を始めよう  
としたり、英語の授業を全て英語でやろうとす  
るなど、とても「ふつう」とは思えません。  
毎年のように行われる全国学力テストの結果  
で読解力のなさは以前から分っているからです。  
グローバル化とは英語が話せることではなく、  
今世界がどうなっているのかを知ることです。  
例えば、国連の発表では、世界人口の3分の1  
以上に当たる25億人が衛生的なトイレのない生  
活をしており、野外排せつなどが疾病を引き起  
こし多数の子供の死につながっていること、「学  
校にちゃんとしたトイレがあれば少女の通学は  
11%増える」と。  
日本の子供は毎日シャワーを浴びたり、風呂  
に入ることを「ふつう」だと言い、自分の都合



テスト勉強する湖陵・江南・北陽生



日大芸術学部卒の粟野祐香さんが3年ぶりに めずらしい！富士山と書いてある



陸前高田の圧倒されるベルトコンベアー！ 2年前、石巻の市立病院のあったところが完全に取り壊され盛土されていた。

のいいように「ふつう」を使います。  
また、国内の問題では、「ふつうにやれ」ば、福  
島の原発事故を教訓にすると、再稼働などありえ  
ないし、太陽光や風力など自然エネルギーの利用  
を進めることだと思ふ。  
更に、「集団的自衛権」の問題も時の首相や閣僚  
が憲法解釈の変更で行おうとしていますが、  
「ふつうにやれ」は憲法改正以外にはないはずで  
いい加減な日本の政治家たちに騙されないこと  
です。  
二〇〇二年の「ゆとりの教育」の結果が10年後  
どうなったのか。卒業生も「ゆとり教育の世代」  
という目で見られると言っています。結果的に騙  
されたのです。  
こんな話が週刊新潮5月1日号に。某大手新聞  
の東京大学を卒業した新聞記者が、山の木々が紅  
葉した様子を記事にした。そのとき、中腹の紅葉  
が下に移動してきた様子を「山の下部も紅葉し  
た」と表現した。まるで笑い話。東大卒でさえこ  
の語彙力。「麓」という言葉を知らない。この記  
者がゆとり世代かどうかは分かりませんが、東大卒  
でも「ふつう」ではないのです。  
辞書にあるように「それがあたりまえであるこ  
と」をやる事が、T先生の言う「ふつうにやれ！」  
だと思います。  
しかし、「当たり前」や「ふつう」が何だか分つ  
ていない子供や大人の多いことが問題なのでしょ  
う。  
ステップゼミナールでもT先生の「ふつうにや  
れ。」を使うことにします。みんな、ふつうにやれ！

**土曜授業、今年度実施は14%：読売新聞調査**  
公立学校での正規の土曜授業が今年度から解禁さ  
れたことを受け、読売新聞が全区市町村の教育委員  
会に調査した結果、約14.5%にあたる251教委  
が今年度に正規の土曜授業を行うことが分かった。  
うち9割近い223教委は小中学校双方で実施す  
る。正規の授業以外に体験活動や補習などを土曜に  
行う教委も約11%あった。一方、約72%は実施しな  
いとされた。  
本紙の調査では、4分の1の自治体が、正規授業  
や任意参加の形で土曜に子供が活動する場を提供し  
ていることが判明した。ただ、文部科学省の調査では、

小中とも約4割の保護者が土曜日の授業を希望して  
おり、教委や学校の意識と保護者のニーズの差が大  
きいことも分かった。  
本紙の調査は4月から5月下旬にかけて、全国  
1741区市町村の教委に、正規の土曜授業を実施  
するかどうかなどをアンケート方式で尋ねた（回答  
率99.4%）。  
その結果、「今年度から新たに実施する」とした  
のは9.5教委（5.5%）、「既に実施しており、継  
続する」が15.6教委（9.0%）だった。何回実  
施するかは様々で、2学期以降の自治体もある。  
読売ONLINEより

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
■鳥取中テスト	休塾				■富原中・北中テスト			休塾		★漢字検定★	■青陵中テスト				★一〇〇〇分特講★					■湖陵テスト		休塾		■附属中テスト		■江南テスト●鳥取中修学旅行	■高専テスト	■北陽テスト●北中修学旅行	休塾

【一〇〇〇分特講・漢字検定】  
中学生も高校生も6月は学年最初の定期テス  
トです！しっかり取組みましょう。14、15日は  
一〇〇〇分特講（希望者）、20日は漢字検定です。

## 6月の予定

携帯電話の  
教室持込禁止  
携帯電話の持込は禁  
止。連絡は塾の電話  
を使用して下さい。

### 「危機的状況にある識字事情」

日本の識字率は99.8%と非常に高いですが、世界の識字事情を見てみると、日本がいかに恵まれているかが分かります。

15歳以上を対象にした読み書きができない人は、2010年、ユネスコの推計で7億5900万人。また、2/3がアジア太平洋地域に集中しています。

1988年にタイのバンコクで18か国が参加して開催された第1回「万人のためのアジア・太平洋識字教育会議」にて各国の代表たちがこうした統計の数字がいかに信憑性を持っていないかを声高に発言しました。それが意味することは、開発途上国の多くでは人口の実態調査ですら困難を極める状態であることから、識字者・非識字者の把握はこれとは比べ物にならないほど難しいということです。

そのため、政治的な数字や人為的な数字が国の体面上提出されることもあり、実際はこうした統計の数字よりも現実の世界では、更に厳しい状況に立たされていることを私たちは理解しなければなりません。

### 「江戸時代に隠された高識字率の理由」

江戸時代、簡単な読み書きに限って言えば、江戸の識字率は70%を超えていたと言われています。

一方で同時期のロンドンの識字率は20%、パリの識字率は10%未満ですから、江戸の識字率の高さが分かります。その背景となったのが、教育機関の普及でした。特に庶民のために開かれた寺子屋は、今の識字率の高さを支えていると言えます。

こちらは江戸時代の教育施設数を示したのですが、これを見ると、江戸時代の教育施設がどれほど充実していたかが分かります。また、鍵となるのは教育機関数だけではありません。江戸時代における教科書の数もまた膨大です。寺子屋において初歩教科書とされた「往来物」をはじめ、儒学書、歴史書などの専門書など多くの種類にわたる教材が使われました。

特に初歩教科書の「往来物」に関しては、寺子屋の教師が執筆することも多かったため、現存するものだけでも7000種類もあるといえます。

### 「識字率の落とし穴」

2000年12月、イタリア教育相のトゥッリオ・デ・マウロ氏は、教師の会合の席で警鐘を鳴らしました。「イタリア人の三人に一人は文盲に近く、ほぼ非識字者と言える」

こちらの発言は、OECD（経済協力開発機構）の初頭・中等教育の就学率調査を受けて、同氏が調査結果を発表したものです。

この発言を見てイタリアの識字率は70%弱だと思える人がほとんどだと思いますが、実際はイタリアの識字率は98.9%。日本の99.8%と比較しても1%も違いません。ここが識字率の落とし穴と言えます。

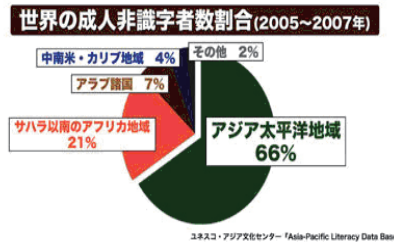
ユネスコが発表する各国の識字率は、各国で実際に行われた調査結果をもとに、ユネスコ等の国際機関に報告しますが、報告するのは各国の教育省。

識字者であるかどうかの判定基準は、調査対象者の主観に基づくことも多く、各国独自の識字の定義によって異なってきます。そのためイタリアで公開される外国語映画は全て吹き替えで公開。これはイタリア同様、ポルトガルもそうですが、字幕を読むことができない人のためにとられている措置で、まだまだ身近な国の識字事情は厳しいと言えます。

### 「日本の識字教育」

こちらは世界寺子屋運動です。

日本ユネスコ連盟協会が世界で識字ができない人たちにむけて、読み書きや算数ができる学び舎、つまり寺子屋を設けて教育の機会を提供する運動です。この運動は子供のみならず、読み書きができない大人にも目を向けています。また、世界寺子屋運動には私たちが協力することができ、書きそんじハガキ1枚協力することで、ネパールでは鉛筆7本、アフガニスタンではノート2冊、ラオスではチョーク35本の募金協力に変わります。また、同運動は1989年から始まっていますが、20年間で得られた成果は次のようになっています。



時代	施設名	数
江戸時代	藩校	270
	郷学	118
	私塾	1076
	寺子屋	16560
現在	小学校	22000

※江戸時代教育施設数 「日本教育史資料」(実数はデータの5倍程度と推定)  
※全国小学校数 文部科学省「学校基本調査」(2010年3月現在)

支援国数43か国1地域 実施プロジェクト数442 寺子屋で学んだ人124万人

「リテラシーを考える」「識字」=「リテラシー」

リテラシーは読み書きできる能力があることに加えて、その情報を応用できる力があることと訳されます。

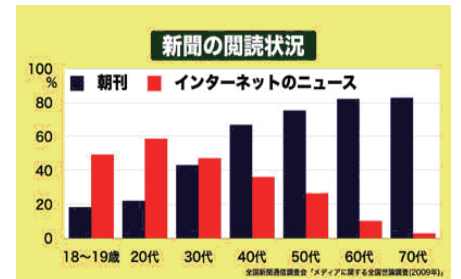
日本の古くからの言葉に「論語読みの論語知らず」という言葉がありますが、これは書物を読んだだけで、実行が伴わないという意味です。

つまり、現在日本には読み書きは出来ても、その内容を理解し応用できている人が少なくなっているのではないかと懸念です。特に最近はコンテンツの凝縮化が激しく、簡素化することによって、内容の理解が希薄になりただ単に「読んでいるだけ」になってしまうのです。それは、実際にデータを見てみても分かります。

更に、Google News 利用者の44%が見出しだけ見て、そこから記事欄には飛ばないことが分かっています。

あくまで、識字の重要性というのは、思考を身につけるための一手段であって、識字そのものが重要なのではなく、その過程で人々の抱える問題に気づき、その解決にむけて話し、考え、そして行動していくのが大切だと思います。

今一度、世界の識字事情を理解するとともに、「リテラシー」の意味を考え直す必要があるのではないのでしょうか？



月尾嘉男(東京大学名誉教授)

実際、情報化社会で情報が溢れているのに知らなかったり、知っていてもそれが何のことだか分からないという生徒がたくさんいる。

読み書きはできるけれど、新聞に掲載されている記事の意味も分からないし、文章の要点をつかんだり、感動したりすることができない。図表を読み取ることができないなどの状態を「機能的非識字」という。

算数や数学の問題を読んで「意味わかんない」や、ありえない答えを平気で書いたり、国語でもちゃんと読んだらこれだろうという答えすら間違える。

要するに丁寧に学習しないという取組む姿勢に問題がある。誰のために、何のためにやっているのか。字を丁寧に書け、漢字を使え、名前を書け、宿題のやり方など毎回、同じことを言っている。寺子屋で学んだ江戸時代の人たちの方が優れていたのではないかと思う。少なくとも学ぶという姿勢は。

正しい判断力と行動力を持つには「機能的非識字」者であってはならない。

### 学習塾チラシ「国公立大出身講師98%」、実は14%

消費者庁は20日、北海道や東北などで学習塾を経営する東証一部上場の「進学会」(本社・札幌市)に対し、新聞折り込みチラシに景品表示法違反(優良誤認)があったとして、消費者に違反を周知徹底するよう求める措置命令を出し、発表した。国公立大出身の講師の割合を過大に記していたという。

公正取引委員会北海道事務所などの調査によると、違反とされたのは「北大学力増進会」「東北大進学会」「名大進学会」の小学生から高校生向け短期講習のチラシで、2011年5月~13年3月に北海道、東北をはじめ、愛知、三重両県の9道県で計1323万9790枚が配られた。チラシには講師について「国公立大出身98%」などと記されていたが、実際は14%しかおらず、84%は国公立大に在学中の学生講師であることがわかった。同社は調べに対し「『出身』という言葉の響きがよく、安易に使ってしまった」と話しているという。

同社の松田啓・専務執行役員は「関係者の皆様へご心配とご迷惑をかけ、心よりおわび申し上げます。チェック体制を強化し、再発防止に努める」とのコメントを発表した。

朝日新聞DIGITALより

心配とご迷惑ではなく「うそ」ついていたことが問題で確信犯だろう。

### ゴールデンウィークに3回目の被災地へ

震災から3年経った今回は、2年前のような震災、津波の爪跡はほとんど見られず、どこでも大掛かりな土木工事が目立った。一見すると復興が進んでいるように見える。しかし、「震災関連死」は、3県のまとめで、1年前より438人増の2993人に上り、福島第1原発事故に伴い未だに13万人超が避難する。死者、行方不明者に関連死を加えると、東日本大震災の犠牲者は2万1500人を超えている。震災後に『絆』という言葉がよく聞かれたが、最近はほとんど聞かれなくなった。流行語ではないのと思う。